



## ずっと使うものだから、トップメーカーならではの安心を。

ニチコンは、家庭用蓄電システムの累計販売台数、国内No.1\*。「電気を蓄え、上手につかうテクノロジー」のトップメーカーとして常に「この先も価値の続くもの」をご提案してきました。地球規模の環境問題、日本のエネルギー問題から、家族の未来まで考えて、蓄電システムを開発しています。

\*2021年3月現在、ニチコン調べ。

- POINT 1 2012年の初出荷以来、約91,000台を販売しているトップメーカー（2021年3月現在）
- POINT 2 2.0~16.6kWhという業界随一の幅広い商品ラインアップ
- POINT 3 国内の幅広い太陽光発電システムや燃料電池とも接続可能
- POINT 4 大手ハウスメーカー様や住宅建材・太陽光発電の商社様、販売店様に多く採用



- POINT 5 ネットワーク&見守りサービス対応で安心もしっかりと
- POINT 6 安心の長期保証と充実のアフターメンテナンス体制
- POINT 7 系統連系（JET）認証取得、ECHONET Lite搭載

製造元

**ニチコン株式会社**

京都市中京区烏丸通御池上る 〒604-0845  
<https://www.nichicon.co.jp/>



販売店

製品に関するお問い合わせ

0120-215-086 (フリーダイヤル)

e-mail: [info-ess@nichicon.com](mailto:info-ess@nichicon.com)

受付時間：月曜日～金曜日 午前9時～午後5時（土・日・祝日・休業日は除く）



温暖化が進む地球。  
環境のために、みらいのために、  
わたしたちにできること。

#### 温暖化が引き起こす気候変動

今、世界中で問題として認識されている温暖化。その影響が顕著なのが気候変動です。気候変動は大規模災害の原因となり、私たちの暮らしに大きな影を落としています。

たとえば近年、温暖化の影響で台風などによる大きな被害が相次いでいます。

大きな災害では、数百万規模の停電が発生します。復旧に時間がかかるれば、何日も電気が使えない生活になるかもしれません。

#### カーボンニュートラルということ

政府が2020年10月に「2050年カーボンニュートラル」を宣言。2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする、脱炭素社会の実現を目指すことを明言しました。

2021年1月20日時点では、日本を含む124か国と1地域が、2050年までのカーボンニュートラル実現を表明しています。

温室効果ガスを実質ゼロにして、温暖化の進行をストップさせることが国際社会共通の目標になっています。



今、新しい風が吹いています。  
キーワードは、  
「グリーン成長戦略」  
「再生エネルギーの拡大」。

#### グリーン成長戦略とは

2020年12月に採択されたグリーン成長戦略。カーボンニュートラル実現にむけて再生可能エネルギーへのエネルギー・シフトにより、経済成長をはかるというものです。目標では2050年には再生可能エネルギーが発電量の5割以上を占めるようになります。

今後、太陽光発電を中心とした再生可能エネルギーはますます注目度をたかめていくことでしょう。

#### 再生可能エネルギーの拡大

グリーン成長戦略のカギを握るのが、再生可能エネルギーの拡大です。再生可能エネルギーとは太陽光・風力・地熱・中小水力・バイオマスといった、温室効果ガスを排出しない環境にやさしいエネルギーです。日本では現在再生可能エネルギーでの発電量が十分ではありません。

高い目標を実現するためには、電力供給側の仕組みの変化も重要ですが、各家庭での取り組みも大切です。太陽光発電でつくった電気を自宅で使用する、地産地消ならぬ家産家消の生活は、もう目の前まで来ています。



クルマのエネルギーは、  
「ガソリン」から「電気」に。  
そして、「太陽光」で  
走らせる時代へ。

新車販売が電動車100%に

グリーン成長戦略では2030年代半ばまでに新車販売はすべて電気自動車などの電動車とする目標が設定されています。この方針によって今後日本でも電気自動車の普及が急速に進むことが想定されます。

世界での動きも加速しています。電気自動車先進国である中国は2035年にはガソリン車をゼロに、新エネルギー車の割合を50%とする目標を打ち出しました。またイギリスやEU各国も政府発表で2030年以降にガソリン車、ディーゼル車の新規販売を禁止するとしました。

世界は今、脱炭素化社会に向けて大きく舵を切り始めました。

太陽光発電のエネルギーをクルマに

電気を動力として走る電気自動車。そのエネルギーの補給はこれまでのようにスタンドに頼らずに家庭で行うことも可能になります。

たとえば家庭に太陽光発電、そして蓄電システムを導入することで、昼のうちに太陽光を電気自動車に充電し、夜はその電気を家に給電し使うことができます。また通勤などで日中に車を利用する場合は、発電した電気を蓄電池にためておき夜間に電気自動車に充電。

家庭で発電した電気でクルマが走る、まるでSF映画で描いたような世界が、今現実のものとなっています。

# 住まいも、クルマも。 太陽光で暮らそう。

## トライブリッド蓄電システム<sup>®</sup>

「トライブリッド蓄電システム<sup>®</sup>」は、自宅の電気はもちろん、新たに電気自動車やプラグインハイブリッド車とも組み合わせられるようになりました。電気自動車が当たり前になるこれからの時代に、太陽光からうまれた電気を使うことで、電気自動車はソーラーカーとして生まれ変わります。

ムービーで  
もっと詳しく!



いつものドライブは、  
太陽光発電で。

これから当たり前になっていく、電気自動車のある暮らし。太陽光発電でつくった電気で、自宅や電気自動車の電気をまかない、家もクルマも電気の自給自足を目指します。

SOLAR DRIVE

P09



もしもの停電も、  
電気を使えるから安心。

停電時にも蓄えておいた電気が使えるので、いつもどおりの暮らしを送れ、さらにトライブリッド蓄電システム<sup>®</sup>なら、電気自動車の電気も自宅で使えます。

SAFETY

P10



あらゆる人に、  
さまざまな暮らしに。

一度にまとめてすべての機器を購入する必要はありません。最初は最低限から、あとから必要な機器を追加して、あなたの暮らしに合わせてシステムの構成を変えることができます。

STEP UP

P11



つなげて賢く、  
使いこなす。

インターネットに接続することで、24時間見守るので安心。さらに、蓄電システムを最大限効率的に活用できるAI自動制御などのネットワークサービスをご用意しています。

NETWORK

P12



# SOLAR DRIVE

いつものドライブは、  
太陽光発電で。

4kWh(増設ユニットで8kWhに拡張可能)の電気をためられるトライブリッド蓄電システム®。

毎日の通勤やお買い物にクルマを使っている方なら、昼間発電した電気を夜間に電気自動車に移動(エレムーブ®)させることで、毎日の電気自動車のエネルギーが自家製電気でまかなえます。



## 電気自動車を大容量蓄電池としても 活用できるV2Hスタンド。

この暮らしを実現するのは、トライブリッド蓄電システム®だけの「V2Hスタンド」。太陽光発電や蓄電池から電気自動車への倍速充電が可能で、通常時、割安な夜間電力を電気自動車に充電し、昼間は電気自動車のバッテリーに蓄えた電力を家庭に給電することで、家計の節約につなげることもできます。

# SAFETY

もしもの停電も、  
電気を使えるから安心。

停電したときも蓄電システムがあれば、蓄えておいた電気が使えます。

さらに、トライブリッド蓄電システム®なら電気自動車にためた電気も使うことができるので、長期間の停電でも安心です。蓄電池の電気を使いきっても、太陽光で発電すれば、また蓄電池に電気を蓄えられます。

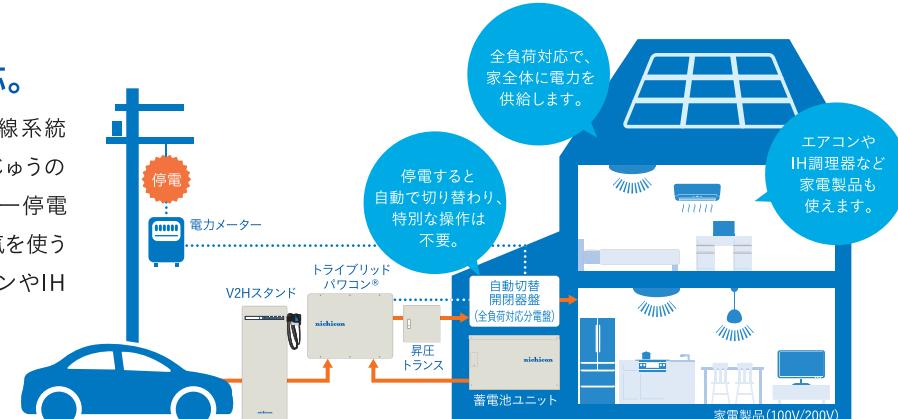


### オプション

#### 家をまるごとバックアップ 「全負荷」および「200V」対応。

停電時に蓄電システムから給電する配線系統を選ばない「全負荷対応分電盤」で、家じゅうの部屋の電源をバックアップします。万が一停電しても、いつもと同様にどの部屋でも電気を使うことができて安心です。200VのエアコンやIH調理器も使うことが可能です。

※昇圧トランスおよび自動切替開閉器盤はオプションとなります。  
詳細は18ページをご覧ください。※本製品は「ESS-T1シリーズ」専用で同時設置のみ可能となります。「ESS-T2シリーズ」や設置済みの「ESS-T1シリーズ」に追加で設置することはできません。



### COLUMN

#### 熊本地震のときにも役立った蓄電システム。

2016年4月に起きた熊本地震。熊本県では約47万戸が停電、復旧まで最大5日を要しました。当時、熊本県で稼働していた当社蓄電システムは約150台。「夜間でもスマートフォンが充電できたのでリアルタイムの情報が得られた」という停電対策だけでなく、「照明が点灯できたので車中泊をしていても泥棒に入られることがなかった」と、防犯対策にもつながりました。

#### 南海トラフ地震が起これば、 多くの地域で停電が起こります。

南海トラフは、日本列島が位置する大陸のプレートの下に、フィリピン海プレートが年間数cmずつ沈み込んでいる場所。この南海トラフ沿いで、30年以内に高い確率でマグニチュード9を超える巨大地震が発生すると予測されています。内閣府中央防災会議によれば、地震直後の停電件数は最大約2,710万軒。事前の防災意識と準備が必要です。

# STEP UP

あらゆる人に、  
さまざまな暮らしに。

トライブリッド蓄電システム®なら、太陽光パネルや蓄電池の増設、さらに後からV2Hスタンドを追加することもできるので、はじめは単機能やハイブリッドの蓄電システムとして、電気自動車を購入したらトライブリッドに。あなたの暮らしに合わせてシステムの構成を変えることができます。



## 暮らしに合わせて選べる2タイプをご用意しています。

まだ太陽光発電を始めていない方はもちろん、既に導入されている方も

今お使いの太陽光発電システムを活かしてトライブリッド蓄電システム®に切り替えることができます。

ユーザーそれぞれの暮らしに合わせられるタイプ1(ESS-T1システム)とタイプ2(ESS-T2システム)をご用意しています。



これから家を購入される方、  
太陽光発電を初めて設置される方は、  
太陽光発電と合わせてトライブリッド蓄電システム®(タイプ1)を購入いただけます。



10年間の売電が終了される方、  
太陽光パワコンの買い替えを検討されている方は、  
つくった電気を売電する暮らしから、電気をお得に使いつける暮らしに切り替えられます。



太陽光発電歴が比較的短い方は、  
現在お使いの太陽光発電システムと組み合わせられるトライブリッド蓄電システム®(タイプ2)がオススメです。つくった電気を家とクルマで上手に使い切る、電気の自給自足が始まります。



\* V2Hスタンドは電気自動車を購入時にあとから増設することができます。

# NETWORK

つなげて賢く、  
使いこなす。

トライブリッド蓄電システム®をお持ちの方ならどなたでも無料でお申込み可能なネットワークサービスをご用意。  
蓄電システムをさらに快適に、便利に活用いただけます。

### 見守りサービス

お客様が安心して蓄電システムをご利用いただけるように蓄電システムを見守るサービスです。蓄電システムのエラー発生状況を見守るだけでなく、機器のソフトウェア更新や今後の新しいサービスをネットワーク経由で提供できます。



### 気象警報・早期注意情報自動制御

お住まいの地域に気象警報や早期注意情報[高]が発表されたら、自動で蓄電システムを充電して停電に備えます。

#### 気象警報自動制御

[警報]:大雨、洪水、暴風、暴風雪、大雪、高潮(波浪は除く)  
[特別警報]:大雨、暴風、暴風雪、大雪、高潮(波浪は除く)



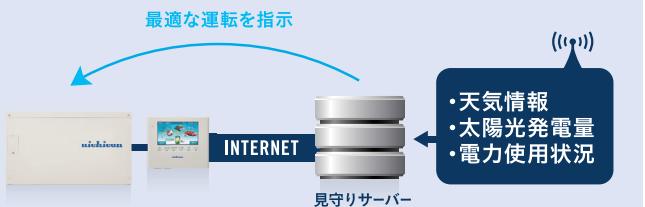
#### 早期注意情報自動制御

対象となる情報 早期注意情報[高](早期注意情報[中]は除く)

### AI自動制御

翌日の「天気情報」、「発電量」、「電力使用状況」を予測して、「余剰電力量」を算出し、卒FITユーザー向けに最適な蓄電システムの運転設定を自動で行います。

※お客様ごとに過去データからAIが予測するため、AI自動制御の登録完了後、約1週間データを蓄積してからAI自動制御が開始されます。予めご了承ください。



#### AIが翌日の「余剰電力量」を予測

##### 翌日が晴れのケース



「余剰電力量」を見込み少なめに蓄電 昼間の「余剰電力量」をムダにすることなく蓄電



「余剰電力量」が見込めないため満充電 「発電電力」がないので蓄電池からたっぷり放電

### ニチコン オーナーズ 俱楽部

サービスへのお申込みは、ニチコンオーナーズ俱楽部から。

ニチコンの家庭用蓄電システムをご購入いただいた皆さんに、長く快適に、安全にお使いいただきたい。その思いから生まれたのが、ニチコンオーナーズ俱楽部です。製品をお持ちの方ならどなたでも無料でご登録いただけます。

マイページ  
ご登録製品の運転状況を確認!  
(2021年10月公開予定)

サービス申込み  
上記4種のサービスにも  
Webから簡単申込み!

マンスリーコラム  
電力にまつわるお役立ち  
コラムを随時更新!

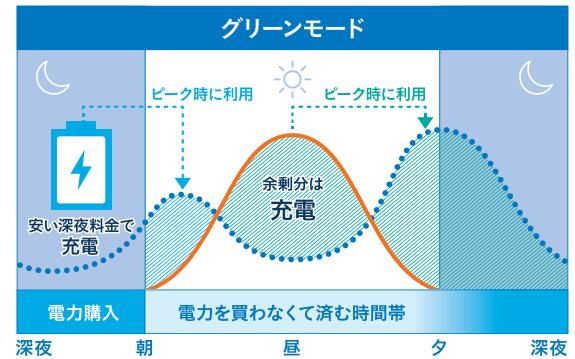


# ECOLOGY & ECONOMY

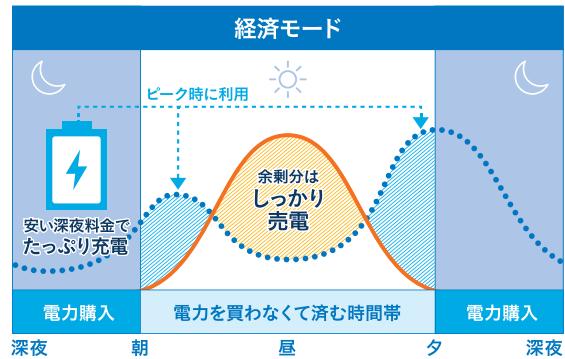
太陽光発電を使い切る  
「家産家消」の暮らし方へ

## 太陽光売電から自家消費へ選べる2つの運転モード。

昼間に太陽光発電した電力を夜間に活用でき、エネルギーの自給自足に貢献。割安な深夜電力を充電して、  
昼間の電力使用量ピーク時間帯に利用し、効率よく電気料金を節約することも可能です。



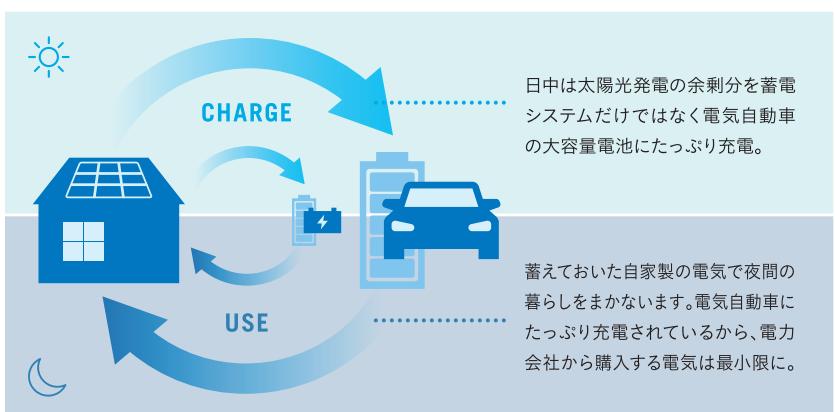
太陽光で発電した電力の余剰分を蓄電池に充電し自宅で使います。  
朝使う電気は深夜電力で充電することも可能です。



太陽光で発電した電力の余剰分をすべて売電する、経済性を重視した  
設定です。太陽光売電効果の高い「押し上げ効果なし」に対応。

## 電気自動車を大きな 蓄電池としてフル活用。

蓄電池と比べて、電気自動車の電池容量は一般的に数倍から数十倍。  
電気自動車が日中に家にあれば、太陽光で発電した電気を5.9kWでたっぷり充電できるため、電力会社からなるべく電気を買わない暮らし方が実現できます。



## 毎日のクルマのエネルギーコストは0円に。

トライブリッド蓄電システム®と電気自動車を組み合わせることによって、毎日のクルマのエネルギーコストを下げることができます。

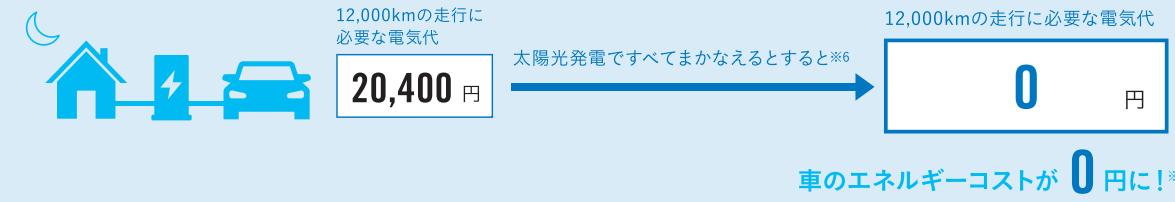
### ガソリン車と電気自動車のエネルギーコストを比較してみると

通勤に自家用車をお使いの方の走行距離は月に1,000km、年間12,000km程度だと言われています。(※1)

ガソリン車	走行距離 12,000 km	÷ 燃費 12 <sup>※2</sup> km/L	× ガソリン代(1Lあたり) 140 <sup>※3</sup> 円/L	= 12,000kmの走行に必要なガソリン代 <b>140,000 円</b>
電気自動車(EV)	走行距離 12,000 km	÷ 電費 10 <sup>※4</sup> km/kWh	× 電気代 17 <sup>※5</sup> 円/kWh	= 12,000kmの走行に必要な電気代 <b>20,400 円</b>

電気自動車にすると年間 **119,600 円 節約**!

### さらに、トライブリッド蓄電システム®と電気自動車を組み合わせた場合



つまり... ガソリン車と比較した場合、年間 **140,000 円もエネルギーコストを節約**!<sup>※8</sup>

※1 自動車保険各社推計をもとにニチコン算定 ※2 お持ちのガソリン車の燃費を12km/1とした場合の試算です。※3 経済産業省 資源エネルギー庁 石油製品価格調査を参考(2018年2月) ※4 日産 新型リーフ(JC08モード)の場合 ※5 東京電力スマートライフプラン深夜料金を参考 ※6 太陽光発電した電力を電気自動車に使用するとその分売電量が減ります。 ※7 天候や家庭での電気使用量によっては0円にならない場合があります。※8 あくまで試算であり効果を保証できるものではありません。

Q どのメーカーの電気自動車に対応していますか?

A 主な日本メーカーの電気自動車に対応予定です。  
電気自動車の対応車種については当社Webサイトに最新情報を掲載しています。

Q 使ううちにどんどん蓄電容量が減るのは?

A 長寿命の新開発リチウムイオン蓄電池を採用しています。  
携帯電話やスマートフォンなどに使われる電池とは違い、電気自動車用に開発された長寿命設計の蓄電池を採用しています。

Q どのメーカーの太陽光パネルと接続できるの?

A 継続保証などの確認は、販売店にご相談ください。  
技術的には、ほとんどのパネルメーカーと接続可能です。

Q 動作中の騒音レベルはどのくらい?

A 図書館と同等の静かさです。  
40dB以下となっており、図書館と同等の静かさとなります。

Q 停電時、切替操作などは必要?

A 機器が自動で切り替えます。  
停電になった場合、機器が約1~2秒間のブランクの後、自動で切り替えます。  
※電気自動車からの自動給電は充放電ガングが接続されている場合に限ります。

Q 停電時のために、蓄電容量を残しておける?

A 『非常時安心設定』で設定できます。  
『非常時安心設定』をしておけば、災害時のために常時残しておく電気残量を30%から70%の間で設定できます。

Q 蓄電池の充電にはどのくらい時間が必要?

A 約2時間で満充電。  
満充電まで約2時間で充電できます。(8kWhに増設時は約4時間です)

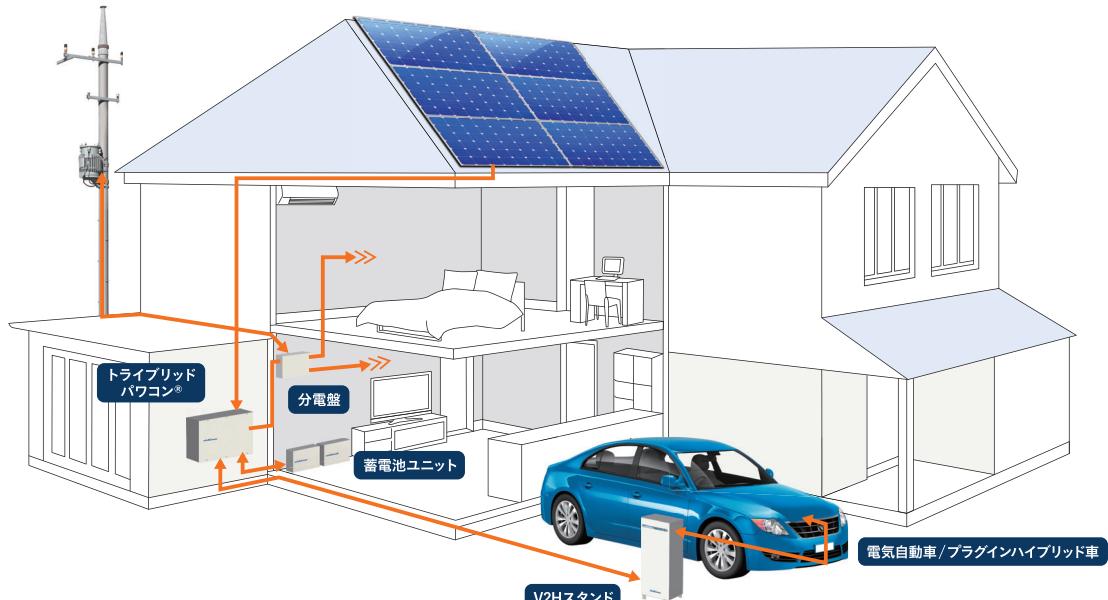
Q 電気自動車への充電は時間がかかるの?

A 通常の充電設備の、最大約2倍のスピードです。  
200V普通充電設備に比べ、最大2倍の早さで充電が可能です。

# SYSTEM

製品紹介

## トライブリッド蓄電システム®設置イメージ



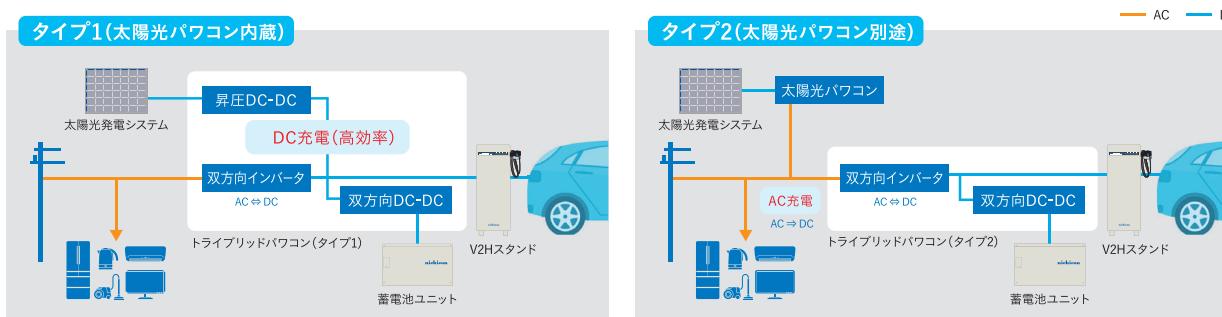
## トライブリッドパワコン®

### 3つの電池をまとめて効率よくコントロール。

太陽光电池、蓄電池、電気自動車の内蔵電池の3電池を統合制御。それぞれの充放電動作をDC接続のまま高効率に行えます(タイプ1)。パワコンの周辺機器は後からでも追加増設可能で、長く使う太陽光発電のベストパートナーです。



ESS-T1(タイプ1)  
ESS-T2(タイプ2)



### 通常時5.9kW、停電時3kVAの大出力

通常時は5.9kWの大出力、必要な電気はしっかり使えます(系統連系時)。停電時も3kVAで安心(蓄電池のみ利用時2kVA)。また、太陽光は、6.6kW/3入力搭載しており、短時間で充電することができます。

### 屋外設置

サイズがW727×H560×D257mm(取付金具、突起部含まず)、重量42kg(タイプ2は36kg)の壁掛型屋外設置で場所を取らないコンパクト設計。

### 15年無償保証

15年間の無償保証付きですので、長期間安心してお使いいただけます。  
※室内リモコンは5年無償保証です。

## 蓄電池ユニット・増設ユニット

ESS-BS ESS-BM



蓄電池ユニット 増設ユニット

### 使い方に合わせて増設できます。

お求めやすい電池容量4 kWh、ライフステージの変化に合わせて増設し、合計8 kWhに拡張可能。

### 電池容量4 kWh、プラス増設用4 kWh

初めて家庭用蓄電システムを設置するご家庭にぴったりの電池容量4 kWh。蓄電池を追加すれば合計8 kWhになります。

### 室内設置

コンパクトで場所を取らない室内設置タイプ。納戸や階段下の空いたスペースに設置可能。

### 10年無償保証+5年延長保証(有償)

10年間の無償保証と初期値50%の容量保証付きですので、長期間安心してお使いいただけます。さらに5年間の保証延長サービス(有償)もご用意。



## V2Hスタンド

ESS-V1

### 電気自動車を大容量蓄電池としても活用できます。

系統電力からだけでなく、太陽光発電や蓄電池から電気自動車への倍速充電が可能。また、通常時、割安な夜間電力を電気自動車に充電し、昼間は電気自動車のバッテリーに蓄えた電力を家庭に給電することで、家計の節約につなげることができます。停電時には、電気自動車の大容量バッテリーからご家庭に電気の供給も行えるので、災害時のバックアップ電源としても安心です。

### 倍速充電

太陽光で作った電力や系統からの電力を電気自動車に素早く充電(通常200V充電設備の倍速充電)できるので、電気自動車を毎日お使いいただくご家庭でも、短時間でその日の走行で使った電力分を充電できます。

### スリムな奥行き

少しでも駐車スペースを確保したいというニーズに応えた、奥行22センチのスリムな筐体です。また、7.5mの充放電ケーブルを付属しておりますので、電気自動車から少々離れたスペースにも設置できます。

### 10年無償保証

10年間の無償保証付きですので、長期間安心してお使いいただけます。

## 室内リモコン (トライブリッドパワコン®に付属)

ESS-R5 5年無償保証



### タッチパネルで簡単操作! 室内リモコンを標準装備。

5インチカラー液晶タッチパネル方式の室内リモコン付き。太陽光の発電量※、蓄電池や電気自動車への充放電量や「エレムーブ®」などが一目で確認できるほか、過去の実績やメンテナンス状態もリモコン画面で簡単に見ることができます。※タイプ1のみ。



### 見守りサポート

ネットワークに接続すれば、運転データをサーバーで分析し、運転状態をお知らせしたり、メンテナンスを行うなど、常にお客様の蓄電システムの安心を見守ります。

※ルーターからインターネットへの接続は、お客様のネットワーク環境を利用します。

### 多彩なネットワーク機能

ネットワーク経由にて、太陽光発電の出力制御や将来始まるVPP(バーチャルパワープラント)などの外部制御が必要な場合でも、HEMSなしで対応可能。他社のHEMSに接続することも可能です。

※詳細は販売店にお問合せください。

